

# 指定管理者からの令和3年度事業報告概要

<b>施設名</b>	岡山県岡山国際交流センター
------------	---------------

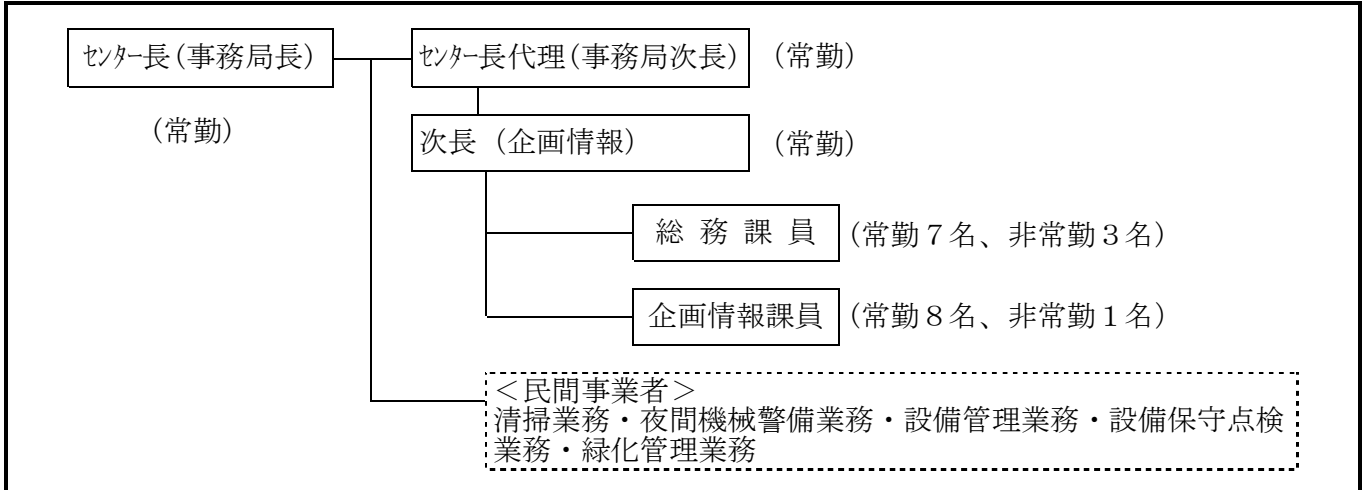
## 【指定管理者の概要】

<b>名称</b>	一般財団法人岡山県国際交流協会	<b>代表者</b>	代表理事 野崎 泰彦
<b>所在地</b>	岡山県岡山市北区奉還町二丁目2番1号		

## 【指定管理の概要】

<b>指定期間</b>	平成29年4月1日～令和4年3月31日	<b>報告期間</b>	令和3年4月1日～令和4年3月31日
<b>管理業務の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備の利用等の許可</li> <li>・施設及び設備の維持管理、修繕等</li> <li>・各種生活情報の提供及び多言語相談等</li> <li>・国際交流及び多文化共生に関する活動の推進 等</li> </ul>		

## 【管理体制の状況】



## 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		会議室等		合計
許可件数	3年度	2,509		2,509
	2年度	2,702		2,702
	増減	△193		△193

## 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	清掃業務・夜間機械警備業務・設備管理業務・設備保守点検業務・緑化管理業務
会議室等使用許可業務	許可件数 2,509件 (会議室関係 2,507件、貸事務所 2件)
情報相談コーナー・図書資料室の運営業務	相談・情報提供等 2,363人、図書資料室の利用 3,849人、多言語生活相談 141回、外国人のための無料法律相談 11回 など
地域の国際化を推進する事業の実施等	岡山の魅力発信事業、災害救援専門ボランティア研修会、地域共生サポーター研修会、日本語講座 217回、子ども日本語学習サポーター派遣 157回 など

## 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		会議室等		合計
収入額	48,275,575			48,275,575
利用件数	2,509			2,509
減免額	452,225			452,225
減免理由	・地域の国際化の推進を目的とした利用 41件			

## 指定管理者からの令和3年度事業報告概要

### 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
<b>収入額 A</b>		130,208,438	1,796,614	128,411,824	3年度収入額 その他の主なもの ・負担金収入 398,533円
内 訳	指定管理料	79,515,555	6,466,954	73,048,601	
	利用料金収入	48,275,575	△4,379,145	52,654,720	
	事業収入	374,218	91,513	282,705	
	その他	2,043,090	△382,708	2,425,798	
<b>支出額 B</b>		139,325,756	5,853,695	133,472,061	
内 訳	人件費	58,118,792	5,535,918	52,582,874	
	管理運営費	72,391,416	49,925	72,341,491	
	事業費	8,815,548	267,852	8,547,696	
	その他	0	0	0	
<b>収支額 A-B</b>		△9,117,318	△4,057,081	△5,060,237	
県への納入金		-	-	-	
<b>実質的な県負担額</b>		71,356,483	6,378,041	64,978,442	

### 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設管理の履行	B	包括協定書に規定する業務仕様書及び事業計画に基づき、概ね適切な施設の管理が行われた。
	②法令等の遵守状況	B	建築基準法、消防法などの規定を遵守した上で、監督機関の指導等に対し、概ね適切に対応した。
	③安全性の確保	B	施設・設備の点検等を専門業者に委託して実施し、安全性は概ね確保された。
	④財産の適切な管理	B	要補修箇所の速やかな修繕や備品等の保全を行い、概ね適切な財産の管理が行われた。
導入 効果	①利用状況	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が昨年度より減少したが、サービスの維持・向上による既存顧客の確保や新規顧客の獲得に努めた。 【施設利用者数(情報相談コーナー等含む)】 R3：86,650人 ← R2：91,247人
	②収支状況	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、貸会議室等の施設利用料収入が減少したことなどから、収支は赤字となったが、経費の節減や施設利用の促進に努めた。
	③サービス向上	B	インターネットを利用した会議等の増加や、利用方法の多様化に合わせ、設備の充実を図ったほか、コロナ禍により申請書を持参等で提出することが難しい利用者に対しては、電子メールによる受付も可能とするなど、サービスの向上に努めた。
<b>管理運営業務全般</b>		B	包括協定書及び事業計画書に基づき、施設の利用や維持管理、各種国際化事業の実施など、概ね適切に管理運営業務が履行された。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。